

墮ちたる騎士の〈徒花〉データ

初期HP

26点

フラグメント

10個

想定ラウンド

4~5

概要

抑えきれぬ破壊の衝動に身を焦がしながらも、その立ち姿には歴戦の騎士としての誇りがにじみ出ている。

これは彼の騎士にとって、最後の戦いであり、輝かしき戦歴の最終章として謳われるべき戦いである。

そうしてその騎士は、己が得物を手に取った。

フォーカスドクトリン

- 1 条件：配役2が徒花の《フラグメント》を減少させた際
対象：配役2
- 2 条件：配役3が徒花の《フラグメント》を減少させた際
対象：配役3
- 3 条件：配役4が徒花の《フラグメント》を減少させた際
対象：配役4
- 4 条件：《メインドクトリン》直前、どの剪定者も《フォーカス》されていない時
対象：配役2

トリガー

※トリガーは初めて条件が満たされた際にその条件と内容が公開され、その後条件が満たされるたびに毎回実行されます

トリガー 墮落した騎士機関

条件	2ラウンド目以降で、同じセルから2回連続で徒花にダメージを与えた際
内容	ダメージを与えた剪定者の《ゲージ》を2点減少し、徒花のHPを[2×この《トリガー》を実行した回数]点増加します。
描写	変異した〈騎士機関〉が、生者の生命力を吸い上げる。

メインドクトリン

メイン1 騎士の教導

内容	「配役2」に【ダイスチェック：10個】の攻撃を2回行います。
描写	その後、「配役3」に【ダイスチェック：5個】の攻撃を3回行います。 一腕は落ちていないだろうな。 その言葉には、まだかつての面影がある。
ブレイク条件	
条件1	弱化1：「配役2」が3セル以上移動する
ストーリー	何度だって、この武技に勝とうと思いつけてきた。 どうすれば勝てるのか、今こそ試すときだ。
条件2	弱化2：「配役3」が合計「20点」以上のダメージを徒花に与える
ストーリー	かつて受けたあの一撃を、そのまま返せたら。 師は果たして、どんな顔をするのだろうか。
条件3	弱化3：「配役4」が「配役3」から6セル以上離れたセルでターンを終了する
ストーリー	焦るなど、彼はいつも言っていた。 敵の様子をうかがうのも、戦士には必要なこと。
ブレイク効果	
弱化1	「配役2」に【ダイスチェック：10個】の攻撃を行います。 その後、「配役3」に【ダイスチェック：5個】の攻撃を3回行います。
弱化2	「配役2」に【ダイスチェック：10個】の攻撃を行います。 その後、「配役3」に【ダイスチェック：5個】の攻撃を2回行います。
弱化3	「配役2」に【ダイスチェック：8個】の攻撃を行います。 その後、「配役3」に【ダイスチェック：5個】の攻撃を行います。

メイン2 武技にも記憶は宿るのだろうか

内容	《予兆》の時点で剪定者がいるセルの番号を記録します。 《メインドクトリン》の実行時、記録した番号のセルにいる剪定者全員に【ダイスチェック：6個】の攻撃を行います。 次にoutのセルにいる剪定者全員を、《フロント》へと配置します。 その後、《フロント》に【ダイスチェック：4個】の攻撃を2回行います。 この攻撃で《フラグメント》が減少するたび、次に行う「種別：アタック」の《スキル》の【ダイスチェック】の個数が「1個」減少します（最低1）。
描写	朦朧としつつある意識の中、ただ、身体に染み付いた武技だけが反射的に繰り出される。
ブレイク条件	
条件1	強化1：剪定者がoutのセルでターンを終了する
ストーリー	怖気づいた者から、命を落とす。前に出ろ。
条件2	強化2：《バック》から合計「25点」以上のダメージを与える
ストーリー	騎士があえて隙を作る理由。 それに思い至ることが、できるかどうか。
ブレイク効果	
効果1	《メインドクトリン》の実行時、記録した番号のセルにいる剪定者全員に【ダイスチェック：9個】の《貫通攻撃》を行います。 次にoutのセルにいる剪定者全員を、《フロント》へと配置します。 その後、《フロント》に【ダイスチェック：4個】の攻撃を2回行います。 この攻撃で《フラグメント》が減少するたび、次に行う「種別：アタック」のスキルのダイス数が「2個」減少します（最低1）。
効果2	《メインドクトリン》の実行時、記録した番号のセルにいる剪定者全員に【ダイスチェック：9個】の《貫通攻撃》を2回行います。 次にoutのセルにいる剪定者全員を、《フロント》へと配置します。 その後、《フロント》に【ダイスチェック：4個】の攻撃を4回行います。 この攻撃で《フラグメント》が減少するたび、次に行う「種別：アタック」のスキルのダイス数が「3個」減少します（最低1）。

